

「管理栄養士の病棟常時配置による医療効果、入院期間短縮効果、経済効果、患者満足度、病棟スタッフ満足度に関する検討」についてのお願い

各種病態に応じた適切な食事(経腸栄養を含む)が、適切なタイミングで提供されることが患者様の栄養状態の低下を予防して、輸液・抗菌薬の減少、入院期間の短縮が見込まれます。適切な栄養管理には、患者の病態や栄養状態を日々の確に判断するスタッフが必要不可欠です。この研究では、管理栄養士が病棟常駐することによる医療効果・入院期間短縮効果等について検討します。

集められたデータは、学会発表や学術論文などにまとめ公表する場合がありますが、個人は特定されることはありません。データの管理はコード番号で行い、個人情報外部に漏れることのないように慎重に行い、プライバシーの保護に努めます。

ご了承いただけない場合でも、診療上不利になることは決してありません。

ご自身のまたは家族のデータを研究に使わないでほしいと希望される方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町 2-1

電話番号：0721-53-5761

国立病院機構大阪南医療センター 栄養管理室 藤井歩実